

資料4

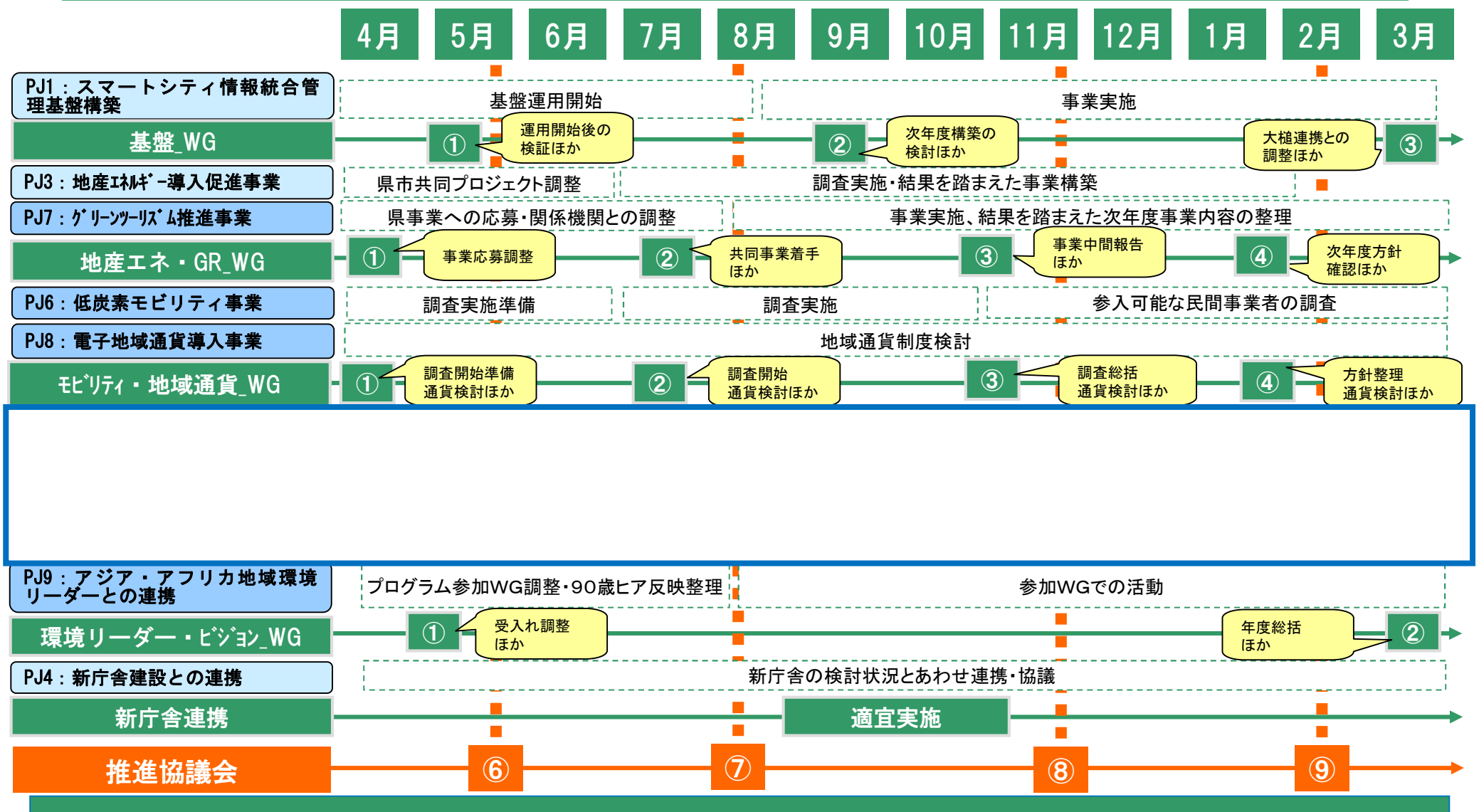
あきたスマートシティ 地域ESCO・LEED WG 協議会報告資料

第6回あきたスマートシティ・プロジェクト推進協議会

場所: 秋田市環境部会議室

平成24年6月4日(月)

0. 年間スケジュール(24年度)



1. 地域ESCO&地域LEED ワーキンググループ(WG)の組成(案)

ワーキンググループ名	構成メンバー	WG長
地域ESCOワーキング	秋田市環境部、アイエムサービス株式会社、ジョンソンコントロールズ株式会社(アドバイザー)、(財)省エネルギーセンター、秋田銀行、CSRデザイン&ランドスケープ株式会社ほか	(財)省エネルギーセンター 鈴木 新右エ門 エネルギー使用合理化専門員

2. 地域ESCOチーム & WG活動(案)

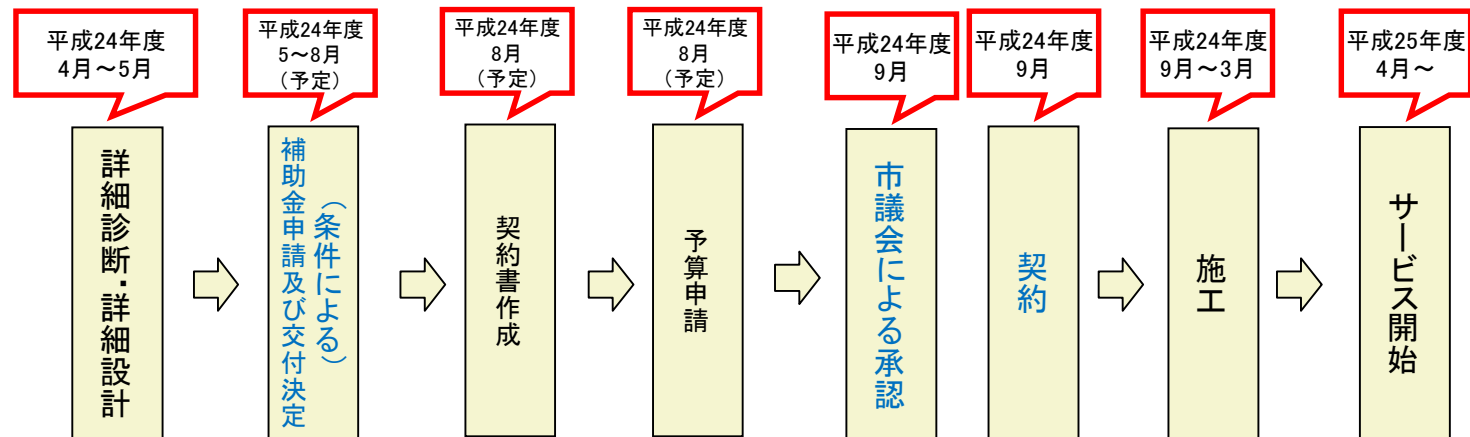
月	地域ESCOの活動(案)	次期 ESCOの活動(案)	WG	WG活動(案)
4月	地域ESCO 詳細診断・詳細設計			
5月	補助金申請			
6月		次期ESCO FS契約 次期ESCO FS調査	6月	補助申請・内容精査・ FS調査公募
7月	補助金決定	FS報告書作成		
8月	契約書作成、予算申請	次期ESCO提案作成 次年度予算申請	8月	補助金採択、 FS結果報告、 次期ESCO提案、予 算検討
9月	市議会による承認、契約	市議会による承認		
10月～ 12月	工事施工	次期ESCO公募	11月	第3次ESCO FS検 討、予算案検討
1月～3 月		次期ESCO審査・事業者選 定		

3. 24年度 ESCO事業について ～ スケジュールと主な検討項目～

省エネ実証 ESCO事業の進め方検討

- ・詳細診断時期と方法
- ・次期FSとの連携検討
- ・補助金公募、申請 (5/21)

概略スケジュール



4. 第2次地域ESCO事業について（今後の予定）

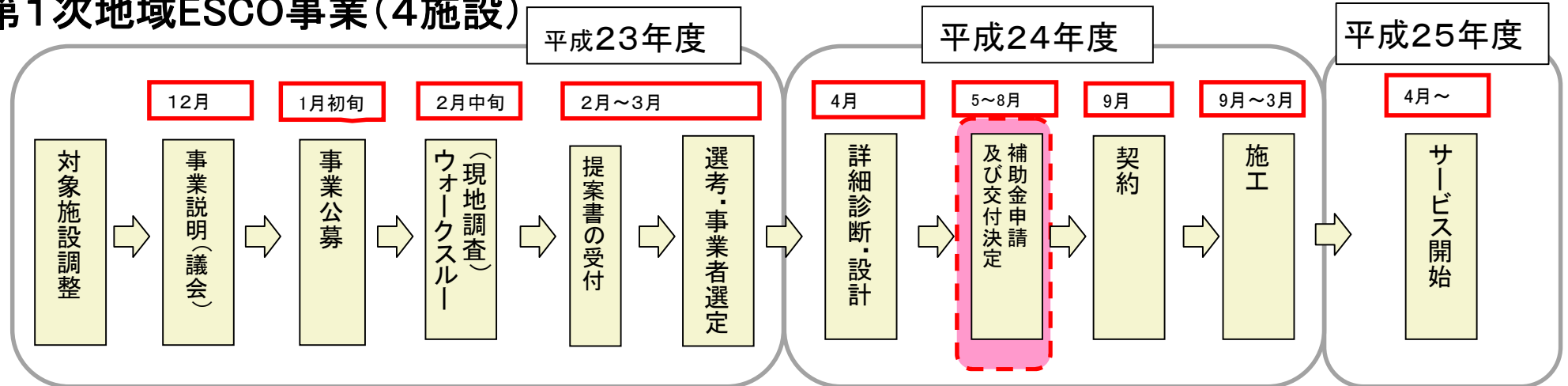
第2次 地域ESCO事業のFS等の対象施設の選定に関して

- ・対象施設の選定にあたっては、以下の点を判断基準とする。
 - ①エネルギー原単位の大きな施設（市施設のエネルギー使用量で上位30程度）
 - ②多棟施設が同一又は近接敷地にあり、エネルギーの相互融通の可能性がある施設
 - ③以前にESCO調査の打診を受けた施設
 - ④施設運用に特殊な要因がない施設（建物の権利関係が複雑でない等）

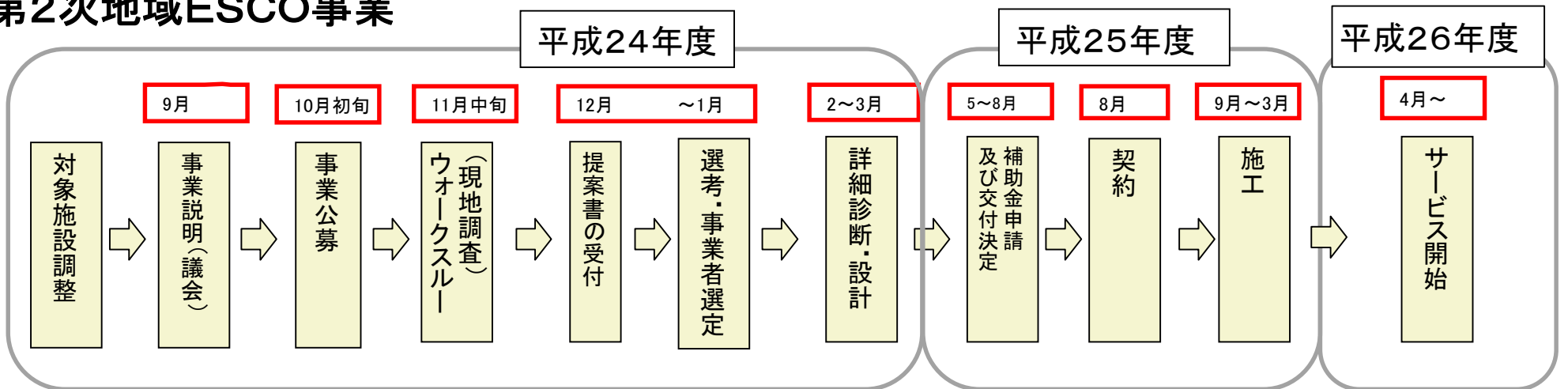
平成24年度中に事業可能性調査を行う予定

5. 実施スケジュール(案)

第1次地域ESCO事業(4施設)



第2次地域ESCO事業

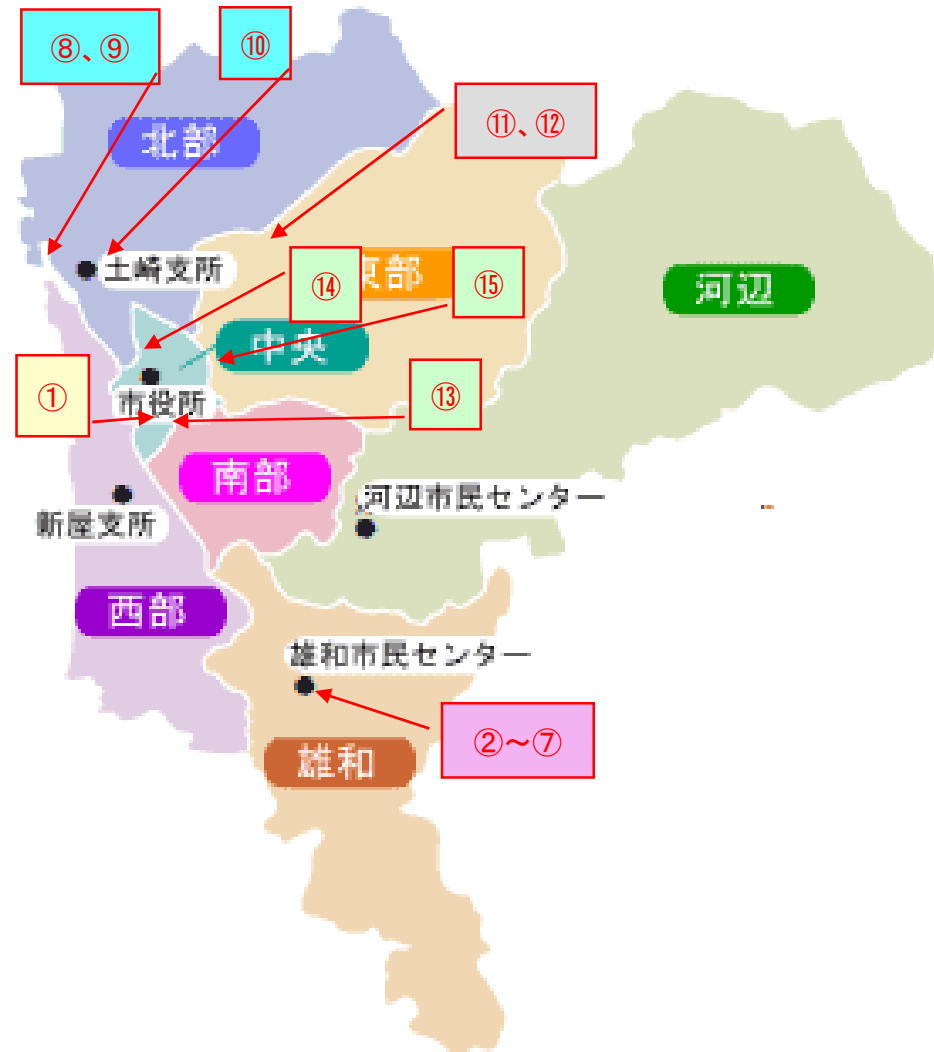


参考: Feasibility Study (FS: 実現可能性調査) の候補検討資料

省エネ診断対象施設に関して 【平成22年度のエネルギー使用量データによる】

No	施設名称	延床面積(m ²)	使用エネルギー量(MJ)	エネルギーの使用に係る原単位(MJ/m ²)
1	市立病院	27,271	144,460,082	5,297.2
2	秋田市雄和観光交流館	1,395	6,336,027	4,542.0
3	秋田市雄和里の家	269.96	571,818	2,118.2
4	秋田市雄和農産物加工所	499	1,711,269	3,429.4
5	秋田市雄和サイクリングターミナル	1,414.08	4,459,871	3,153.9
6	秋田市雄和高尾山レクリエーション施設	224	24,322	108.6
7	秋田市雄和ふるさと温泉	1,720.13	14,136,106	8,218.0
8	秋田港振興センター	4,602.11	2,094,340	455.1
9	ポートタワーセリオン	1,482.15	16,996,714	11,467.6
10	外旭川老人デイサービスセンター	626.27	2,142,805	3,421.5
11	太平山リゾート公園 森林学習館	693.57	2,295,717	3,310.0
12	太平山リゾート公園 クアドーム	11,582.47	44,438,254	3,836.7
13	川口老人デイサービスセンター	534.99	2,459,351	4,597.0
14	八橋老人いこいの家	533.32	1,370,446	2,569.6
15	中央図書館明德館	4,806.43	9,759,205	2,030.4

参考: Feasibility Study (FS: 実現可能性調査) の候補検討資料



参考：地域ESCO事業の発展（将来の検討項目）

- 地域ESCO事業の市内事業会社への適用可能性の検討
- 地域事業会社へのエネルギーマネジメントシステム、省エネ施策の適用の可能性検討
- 住宅のエネルギーマネジメント、省エネ施策の適用の可能性検討

6. 地域LEED 勉強会(案)

地域LEEDは 分科会としてまず勉強会を行う。

分科会構成メンバー案：秋田市環境部、

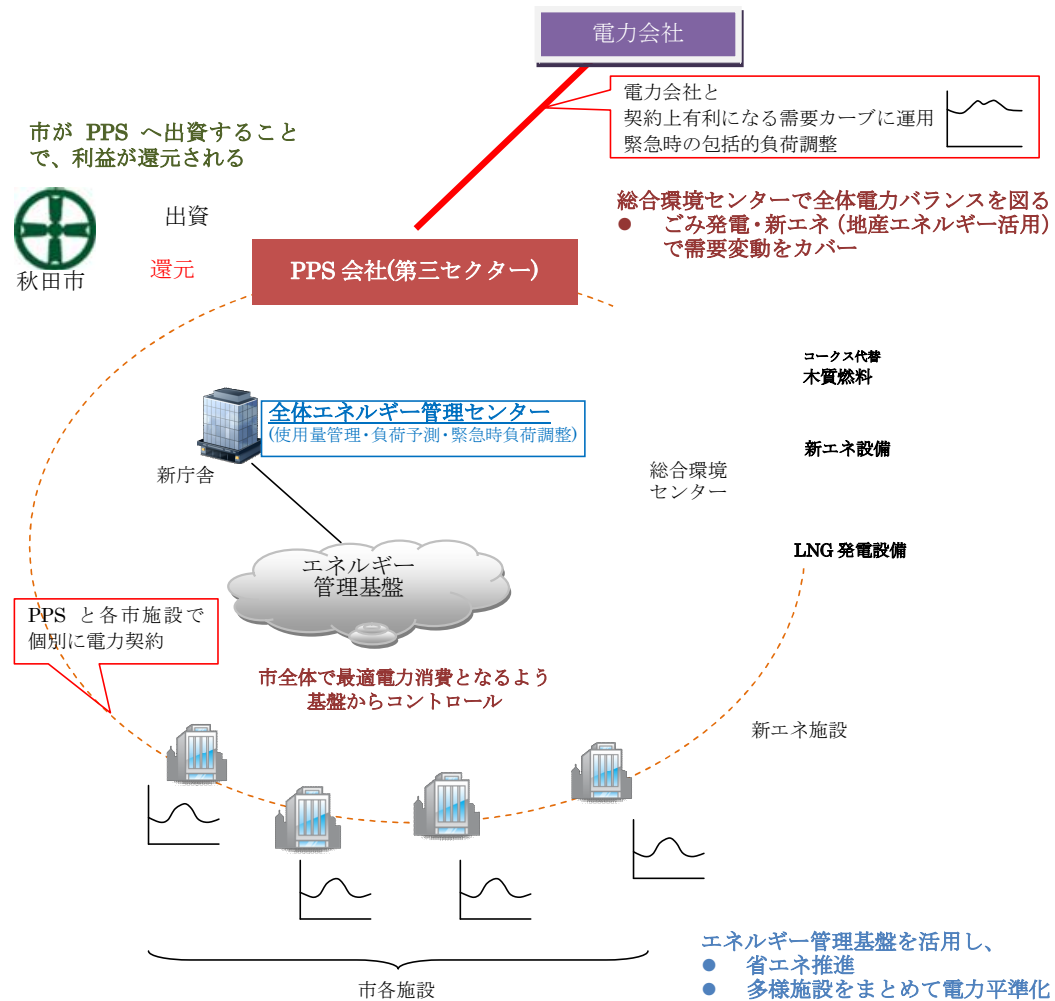
ジョンソンコントロールズ株式会社

CSRデザイン&ランドスケープ株式会社

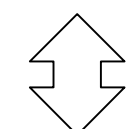
他

- LEEDの基礎 勉強会（1回目）
（全体概要、NC/EB/Healthcare/School 等の特徴など）
- 地域LEEDの基礎 勉強会（2回目）
（基本要件、選定地域、設計視点、グリーンインフラ&建物等）
- あきたSC での適用の可能性・範囲検討
- 参考：
 - 米国事例紹介等
 - LEED for NC/EB
 - LEED for Healthcare
 - LEED for Campus (University, College & Campus)
 - LEED for School

7. 地域エネルギーシェアリング構想の具現化検討(案)



秋田市資本参加のPPS(特定規模電気事業者)を作り、PPSと各施設で電力契約を交わすことで仮想的に秋田市の電力を一本化し、エネルギー管理基盤によってデマンドシェアリング、新エネ、ゴミ発電などを有効に活用、最適な電力需要となるようにコントロールすることにより、電力コストの低減と省エネルギーを得られる可能性も検討される。



震災後の電力供給不安定＋価格高騰の中で 地域自給エネルギーとピークシフト、デマンドレスポンスなど地域エネルギーマネジメント機能の重要性が加速される。

あきたスマートシティ・プロジェクト 基本計画より

8. 地域エネルギーシェアリング構想の具現化検討(案)

経済産業省のエネルギー施策検討

- 小口電力市場の形成加速と分散型 グリーン市場の創設 (4/3 日本経済新聞記事参照)
- 原子力発電停止による電力需給と価格高騰の影響が大きくなる
- 秋田市の施設に対する電力料金の低減が図れる

